

コレクション+

アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ

2017年7月21日(金)~9月26日(火)



島地保武《震える影を床に落とす》 2016年 シンバル 作家蔵
撮影：畠山直哉 協力：資生堂ギャラリー



はじめに

アーツ前橋では開館前から、収蔵作品に若手作家の作品などを加えたテーマ展示〈コレクション+〉を開催してきました。今回は、近隣の美術館や個人所蔵家からお借りした作品をアーツ前橋の収蔵作品にプラスして、鑑賞をテーマにした展覧会を企画しました。

作品から受ける印象や感じ方は、自分の出自や過去の経験、記憶などが少なからず反映され、アートとの出会いは、私たちが自分自身を再発見する機会を与えてくれます。アートの秘密とは、答えはアート作品の中にあるのではなく、作品からメッセージを受け取る自分自身の中にあるのです。そのような体験をしてみませんか？

作品の素材や表現、制作方法をよく見ることで美術作品そのものと出会い、制作された社会や文化、作者を知ることによってさらに作品へ興味を深め、そして他者の感じたことや考えたことに触れて、この世界には自分とは異なるいくつもの感じ方や考え方があることに気づくことでしょう。この展覧会では「素材」「社会」「作家」「他者」「自分」との出会いという5つの章立てで構成し、さまざまな鑑賞体験を紹介します。

アーツ前橋

開催概要

【展覧会名称】「コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」

【会 期】7月21日（金）～9月26日（火）

【開館時間】11:00～19:00（入場は18:30まで）

【休 館 日】水曜日

【主催・会場】アーツ前橋

【観 覧 料】観覧料 一般500円／学生・65歳以上・10名以上の団体300円
／高校生以下無料

*障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は観覧無料

*夏休みキッズフェスタ2017開催の8/19(土)は観覧無料

*本展会期中割引…以下の条件でご来館の方には、300円で観覧できます

①トワイライト割：開館中の17時以降に入場された方

②猛暑割：最高気温35度以上の猛暑日に入場された方

【参加作家】島地保武（ダンサー・振付師）

山城大督（美術家・映像ディレクター）

【展示作家】青柳琴僊、有村真鐵、池田カオル、伊藤存、伊藤三枝、瑛九、金井烏洲、金子英彦、木暮伸也、小室翠雲、白川昌生、長重之、照屋勇賢、中村節也、平尾峰春、福沢一郎、福田貂太郎、三輪途道、パブロ・ピカソなど

プレスレビュー

期日：7月20日（木）

時間：14:00～19:00（※最終入場は18:30まで）

14:30より担当学芸員による作品解説を行います

関連プログラム

① おしゃべりアートウィーク

アーツナビゲーターと一緒に、作品について気づいたこと、感じたことなどを自由に話しながら、自分以外の誰かと作品を一緒に見ることの楽しさを体験します

日時：9月18日（月・祝）～24日（日） 11:00～12:00／14:00～15:00

参加費：無料（要観覧券）

申込方法：事前申込制／電話で申込みください

② 島地保武 パフォーマンス

参加アーティストの島地保武（舞踊家）が展示室内に出没し、パフォーマンスを行います

日時：決まり次第、公式サイト等でお知らせします

参加費：無料（要観覧券）／申込不要



③ ワークショップ付きギャラリーツアー “六感ラボ／Sixth Sense Laboratory”

普段の自分の感覚をより敏感にさせるワークショップを行ったあとに、展覧会を鑑賞します

日時：8月11日（金・祝）14:00～16:30

講師：山城大督（美術家・映像ディレクター）

会場：展示室ほか（要観覧券）

対象：中学生以上、16名

申込方法：事前申込制／電話で申込ください

④ “ミュージアムの秘密” 館内バックヤードツアー

普段は入ることのできない美術館（ミュージアム）の裏側をご案内し、展示や施設の日常をお見せします

日時：8月5日（土）、8月27日（日）14:00～15:30

対象：一般、各15名

申込方法：事前申込制／電話で申込ください

⑤ こどもアート探検

学芸員やサポーターと一緒に作品を見て話しながら、作品を鑑賞します。

日時：8月19日（土）14:00～15:00

対象：小学生以下（未就学児は保護者同伴）

参加費：無料／申込不要

同時開催

【展覧会名称】コレクション展 新収蔵作品を中心に

【会 期】6月15日（木）～9月26日（火）

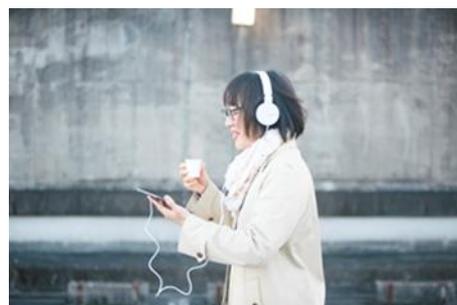
【開館時間】11:00～19:00（入場は18:30まで）

【休 館 日】水曜日

【観 覧 料】無料

本展の見どころ

- ① アーツ前橋の収蔵作品(コレクション)に、県内の美術館やコレクターの作品を加えて、鑑賞をテーマにした展覧会企画。アーツ前橋開館後初となる小室翠雲の《富士山頂図(絶巔)》や《前赤壁図》などを展示します。
- ② 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館より福沢一郎作品を8点借用。パリ留学中の作品から晩年のギリシャ神話に取材した作品までを展示し、次々と新しい表現に取り組んだ画家の人生をご覧ください。
- ③ ダンサーであり振付師の島地保武のインスタレーション作品を展示。島地がパフォーマンスする様子を頭上から撮影した映像を床面に投影し、鑑賞者も同じ映像に現れる体験によって、自分自身の身体感覚を確かめる経験をします。
- ④ 鑑賞サポートツール《folks／フォークス》をお披露目します。アート鑑賞する際の心や感覚をほぐし、新しい発見や気づきを得られるような鑑賞体験を提案するプログラムで、2015年から群馬大学と連携して、ワークショップ参加者とともに試行錯誤を続けてきました。視覚、聴覚、触覚などに意識を向ける「鑑賞ウォーミングアップツール」と、アーティスト本人の生の声や企画をした学芸員のメッセージを聞くことができる「鑑賞ガイド」を制作しました。



鑑賞サポートツール

《folks／フォークス》体験会

撮影：木暮伸也

主な作品



図1



図2



図3



図4



図5

- 図1 福沢一郎《蝶（習作）》1930年 福沢一也氏所蔵
- 図2 木暮伸也《景織_shimomasuda》2011年 アーツ前橋蔵
- 図3 島地保武《震える影を床に落とす》2016年 個人蔵
- 図4 小室翠雲《前赤壁図》1915年 アーツ前橋蔵
- 図5 三輪途道《普通のありよう 秀真》2009年 アーツ前橋蔵

* 図6は、4ページに掲載しています。

記事掲載についてのお願い

- ・掲載にあたっては、展覧会名称と会期を表記してください。
- ・画像等を掲載する場合は、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。
- ・掲載記事やVTRは、資料として保管いたしますのでアーツ前橋までご送付ください。
- ・取材、収録等の取材は、必ず事前にお問い合わせください。

お問い合わせ

アーツ前橋

前橋市役所文化スポーツ観光部文化国際課 担当：堺（広報担当）、辻（学芸担当）

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16

TEL：027-230-1144 FAX：027-232-2016 URL：<http://artsmaebashi.jp/>

E-MAIL：artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

交通案内

●公共交通機関

JR 前橋駅から徒歩約10分

上毛電鉄 中央前橋駅から徒歩約5分

●自動車

関越自動車道 前橋ICから車で約15分



※**P**マークの駐車場のご利用に関しては、駐車券に割引処理いたします。

アーツ前橋企画展「アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」 広報用画像申込書

アーツ前橋 広報担当 宛 FAX 027-232-2016

ご希望の画像の番号に○を付けてください。画像（JPEG）をメールにてお送りいたします。

*本展覧会の広報を目的とする場合に限り、ご提供いたします。個人のブログへの掲載や鑑賞等を目的とする場合にはご
提供できません。

*掲載にあたっては、キャプション・クレジット等を正確に表記してください。

番号	キャプション・クレジット等
【図 1】	福沢一郎《蝶（習作）》1930年 福沢一也氏所蔵
【図 2】	木暮伸也《景織 _shimomasuda》2011年 アーツ前橋蔵
【図 3】	島地保武《震える影を床に落とす》2016年 撮影：畠山直哉 協力：資生堂ギャラリー
【図 4】	小室翠雲《前赤壁図》1915年 アーツ前橋蔵
【図 5】	三輪途道《普通のありよう 秀真》2009年 アーツ前橋蔵
【図 6】	鑑賞サポートツール《folks／フォークス》 ディレクション：山城大督 写真：木暮伸也

◎読者プレゼント用招待券（5組 10名様分）

希望します

希望しません

媒体情報 *できるだけ詳しくご記入ください。

掲載誌：	
発行日：	発行元：
貴社名：	
部署名：	担当者名：
所在地： 〒	
TEL：	FAX：
E-MAIL：	